

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東放学園映画専門学校
設置者名	学校法人 東放学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
芸術専門課程 (文化・教養関係)	映画制作科 (2年制)	夜・通信	180時間	80×2= 160時間	
	プロモーション映像科 (2年制)	夜・通信	180時間	80×2= 160時間	
	小説創作科 (2年制)	夜・通信	180時間	80×2= 160時間	
	アニメーション・CG科 (2年制)	夜・通信	180時間	80×2= 160時間	
	映画 VFX 専攻科 (1年制)	夜・通信	180時間	80×1= 80時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の実務経験に関するチェック欄あり。  
(掲載: <https://www.tohogakuen.ac.jp/about/valuation/> )

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東放学園映画専門学校
設置者名	学校法人 東放学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している。  
(掲載：<https://www.tohogakuen.ac.jp/about/detail/>)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2022. 6. 1～ 2025. 5. 31	経営等へのアドバイス
非常勤	国立大学教授 (リベラルアーツ研究教育院)	2022. 6. 17～ 2025. 5. 31	クリエイター教育等への アドバイス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東放学園映画専門学校
設置者名	学校法人 東放学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)                  (映画制作科(2年制)、プロモーション映像科(2年制)、小説創作科(2年制)、アニメーション・CG科(2年制)、映画VFX専攻科(1年制))</p> <p>【作成について】                  学園全体で定める教育理念や教育方針等により、学科ごとにカリキュラム・ポリシーを策定。これらをベースとした上で、教育課程編成委員会等の客観的な意見を取入れ、職員会議等で検討。これらを基に、具体的かつ適正な授業の内容・方法や到達目標・成績評価方法を定め、授業計画を作成している。                  学内の「シラバス作成ガイドライン」(シラバス作成の方法と手引き)によって、授業科目名、担当教員名、開講年次、修得単位時間数等の授業形態の他、目的(到達目標)、概要、授業計画、評価方法、使用する教科書等の事項は、全学科共通の記載内容と定めている。</p> <p>【時期について】                  翌年度の講義予定(授業計画)は、8～9月頃に実施される教育課程編成委員会、その後の職員会議や11月頃に実施されるカリキュラム会議等を経て、シラバス作成ガイドラインに沿って翌2月を目途に作成する。当該年度4月、HP上に公開する。</p>	
授業計画書の公表方法	掲載： <a href="https://www.tohogakuen.ac.jp/about/valuation/">https://www.tohogakuen.ac.jp/about/valuation/</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。                  各学科で定める授業科目の試験等(レポート含む)により成績評価を行っている。                  (参考)</p> <p>学則 第4章 学習の評価・課程修了の認定より抜粋</p> <p>第10条 各科目の試験成績及び演習、実験、実習の成績は、100点をもって最高とし、50点以上を合格とする。</p> <p>2 学習の評価は、A・B・C・D・Fをもって表し、100～85点をA、84点～70点をB、69～60点をC、59～50点をD、50点未満をFとする。</p> <p>第11条 本校において行う授業科目を履修し、試験等に合格した者には科目ごとに修了の認定を行い、第7条に定めた時間数以上の授業科目において科目修了の認定を受けた者には、課程修了の認定を行う。</p> <p>第12条 科目修了の認定は、試験又はレポート提出によって行う。但し、実験及び実習は平素の成績によって認定することができる。</p> <p>2 各科目について授業日数の3分の2以上の出席をもってその科目修了の認定を受けることができる。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>期末試験、提出課題・レポートや学修意欲等の平常点等によって評価される総合点から、100～85点をA、84～70点をB、69～60点をC、59～50点をD、50点未満をFとする成績値で表している。</p> <p>上記A～Fまでの5段階の評価を、本校が定めるGPA計算式に当てはめ、客観的に算出された値によって成績状況や当該学科・学年の分布状況を適正に把握し、的確な学修指導を行っている。</p> <p>&lt;GPA計算式&gt;</p> $\text{GPA} = \frac{(4 \times \text{A 修得単位数} + 3 \times \text{B 修得単位数} + 2 \times \text{C 修得単位数} + 1 \times \text{D 修得単位数})}{\text{総履修単位数 (Fを含む)}}$ <p>※GPAの計算は小数点第2位を四捨五入するものとする</p> <p>成績評価法については、HPで公開するほか、入学時オリエンテーションやホームルーム等で入学生徒等に通知している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	掲載： <a href="https://www.tohogakuen.ac.jp/about/valuation/">https://www.tohogakuen.ac.jp/about/valuation/</a>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>東放学園は「己と和と成長」を基本として、未来に向かって豊かな価値を創造し、メディアとエンターテインメントの発展に貢献できる人の育成を目指している。</p> <p>学園全体で定める教育理念や教育方針等を念頭に、企業等と連携し客観的な意見を取り入れ、必要とされる人材・修得すべき能力等を鑑み、学科ごとに卒業認定・専門士付与の方針としてディプロマ・ポリシーを定めている。</p> <p>これらに則し、適正な評価・履修認定方法による成績評価によって、進級や卒業認定に関する判定会議や職員会議を実施。所定の必修授業科目や単位時間を修得した学生に対し、教員個人の恣意的な判断ではなく多数の教員による客観的な判定により、卒業を認定している。</p> <p>本校ではディプロマ・ポリシー（卒業認定の方針）を策定し、HPに公表している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	掲載： <a href="https://www.tohogakuen.ac.jp/about/valuation/">https://www.tohogakuen.ac.jp/about/valuation/</a>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東放学園映画専門学校
設置者名	学校法人 東放学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年6月上旬に最新情報をHP公開している <a href="https://www.tohogakuen.ac.jp/about/valuation/">https://www.tohogakuen.ac.jp/about/valuation/</a>
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		芸術専門課程	映画制作科 昼間部(2年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,700 単位時間/単位	390 単位時間/単位	1,040 単位時間/単位	710 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2,140 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
144人		146人	47人	9人	8人	17人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 授業においては、課題毎のレポート提出や実施される小テスト等によって、学生の意欲や理解度を把握。また、必要に応じてクラス担任、進路担当、専任カウンセラー等が学修支援を実施している。 出席・成績不良の学生には、クラス担任が電話やメールで状況を確認し、連絡がつかない場合は、保護者に報告するなど、教職員全員で情報を共有し、組織的に対応している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他*
73人 (100%)	3人 (4.1%)	36人 (49.3%)	34人 (46.6%)
*「その他」欄に映画業界作品契約のフリーランス形態含む (主な就職、業界等) 株式会社 TBS スパークル、株式会社共同テレビジョン、株式会社 TREE Digital Studio、株式会社テレビマンユニオン、株式会社クレイジー・ティビィ、KANAMEL 株式会社、アオイスタジオ株式会社、株式会社博報堂プロダクツ、株式会社サウンド・シティ、株式会社 FILM などの映像制作及び関連企業			

<p>(就職指導内容)</p> <p>ビジネスマナー、就職試験対策、学内企業説明会、就職セミナー、模擬面接等を実施。就職担当者との進路個人面談を必須とし進路希望状況を把握している。1年生学期末、2年生夏季休暇・後期に、インターンシップ制度を実施している。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>映像音響処理技術者資格認定試験、秘書検定、情報処理技能検定、文書デザイン検定、日本語ワープロ検定、プレゼンテーション作成検定、文章入力スピード検定</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
169人	14人	8.3%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更、経済的問題、健康上の理由等</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>担当アドバイザーが、学生の欠席・成績状況を把握し、必要に応じて指導や助言を行い、保護者との情報共有等を図っている。また個人面談を通じて学校生活全般に対するケアを行っている。</p> <p>専任カウンセラーによるカウンセリングを実施している。</p>		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
文化・教養		芸術専門課程	プロモーション映像科 昼間部(2年制)	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	1,700 単位時間/単位	405 単位時間/単位	860 単位時間/単位	755 単位時間/単位	単位時間/単位
			2,020 単位時間/単位			
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
72人	66人	12人	3人	11人	14人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 授業においては、課題毎のレポート提出や実施される小テスト等によって、学生の意欲や理解度を把握。また、必要に応じてクラス担任、進路担当、専任カウンセラー等が学修支援を実施している。 出席・成績不良の学生には、クラス担任が電話やメールで状況を確認し、連絡がつかない場合は、保護者に報告するなど、教職員全員で情報を共有し、組織的に対応している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
33人 (100%)	2人 (6.1%)	24人 (72.7%)	7人 (21.2%)
(主な就職、業界等) 株式会社博報堂プロダクツ、KANAMEL 株式会社、株式会社権四郎、株式会社 ADK クリエイティブ・ワン、株式会社クープ キュー・テックスタジオ、株式会社セップ、株式会社イメージスタジオ・イチマルキュウ、太陽企画株式会社、株式会社 vanishock など映像制作関連企業			



<p>(就職指導内容)</p> <p>ビジネスマナー、就職試験対策、学内企業説明会、就職セミナー、模擬面接等を実施。就職担当者との進路個人面談を必須とし進路希望状況を把握している。1年生学期末、2年生夏季休暇・後期に、インターンシップ制度を実施している。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>映像音響処理技術者資格認定試験、秘書検定、情報処理技能検定、文書デザイン検定、日本語ワープロ検定、プレゼンテーション作成検定、文章入力スピード検定</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
72人	7人	9.7%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更、経済的問題、健康上の理由等</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>相談内容に応じて、クラス担任、進路担当、専任カウンセラー等が対応。出席不良の学生には、クラス担任が電話やメールで状況を確認し、連絡がつかない場合は、保護者に報告。教職員全員で情報を共有し、組織的に対応している。またクラス担任は個人面談を通じて学校生活全般に対するケアを行っている。</p> <p>専任カウンセラーによるカウンセリングを実施している。</p>		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		芸術専門課程	小説創作科 昼間部(2年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,700 単位時間/単位	675 単位時間/単位	1,560 単位時間/単位	240 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2,475単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
72人		42人	6人	6人	10人	16人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 授業においては、課題毎のレポート提出や実施される小テスト等によって、学生の意欲や理解度を把握。また、必要に応じてクラス担任、進路担当、専任カウンセラー等が学修支援を実施している。 出席・成績不良の学生には、クラス担任が電話やメールで状況を確認し、連絡がつかない場合は、保護者に報告するなど、教職員全員で情報を共有し、組織的に対応している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15人 (100%)	2人 (13.3%)	8人 (53.3%)	5人 (33.3%)
(主な就職、業界等) 株式会社アスキー・メディアワークス、株式会社シナリオテクノロジーミカガミ、ディーディービー・ジャパン株式会社、株式会社TBSスパークル、株式会社アウトソーシング、株式会社キャラメル・ママ、ポリゴンマジック株式会社、株式会社榎本事務所、株式会社DBジャパン、株式会社早川書房など 業界内・外企業 (執筆活動継続のため) まで多岐にわたる。			

<p>(就職指導内容)</p> <p>ビジネスマナー、就職試験対策、学内企業説明会、就職セミナー、模擬面接等を実施。就職担当者との進路個人面談を必須とし進路希望状況を把握している。</p> <p>小説家の育成においては卒業後も勉強会等を実施し、継続での対応をしつつ、就職においてはエンタメ業界以外の企業を斡旋している。</p>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等) )</p> <p>DTP 検定、校正技能検定、秘書検定、情報処理技能検定、文書デザイン検定、日本語ワープロ検定、プレゼンテーション作成検定、文章入力スピード検定</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
46 人	6 人	13.0%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更、経済的問題、健康上の理由等</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>相談内容に応じて、クラス担任、進路担当、専任カウンセラー等が対応。出席不良の学生には、クラス担任が電話やメールで状況を確認し、連絡がつかない場合は、保護者に報告。教職員全員で情報を共有し、組織的に対応している。またクラス担任は個人面談を通じて学校生活全般に対するケアを行っている。</p> <p>専任カウンセラーによるカウンセリングを実施している。</p>		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
文化・教養		芸術専門課程	アニメーション・CG科 昼間部(2年制)	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	1,700 単位時間/単位	525 単位時間/単位	30 単位時間/単位	1,320 単位時間/単位	単位時間/単位
			1,875 単位時間/単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
72人		55人	26人	3人	7人	10人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
(概要) 授業においては、課題毎のレポート提出や実施される小テスト等によって、学生の意欲や理解度を把握。また、必要に応じてクラス担任、進路担当、専任カウンセラー等が学修支援を実施している。 出席・成績不良の学生には、クラス担任が電話やメールで状況を確認し、連絡がつかない場合は、保護者に報告するなど、教職員全員で情報を共有し、組織的に対応している。	

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25人 (100%)	4人 (16.0%)	11人 (44.0%)	10人 (40.0%)
(主な就職、業界等) 株式会社プロダクション・アイジー、株式会社 A-1 Pictures、株式会社スタジオ雲雀、株式会社ジェー・シー・スタッフ、株式会社 Cygames Pictures、株式会社 タツノコプロ、株式会社 東映アニメーション、株式会社 シルバーリンク、株式会社 サテライト、株式会社 マッドボックスなどのアニメーション関連企業			

<p>(就職指導内容)</p> <p>ビジネスマナー、就職試験対策、学内企業説明会、就職セミナー、模擬面接等を実施。就職担当者との進路個人面談を必須とし進路希望状況を把握している。1年生学期末、2年生に、インターンシップ制度も実施している。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>映像音響処理技術者資格認定試験、CGクリエイター検定、秘書検定、情報処理技能検定、文書デザイン検定、日本語ワープロ検定、プレゼンテーション作成検定、文章入力スピード検定</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
63人	8人	12.7%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更、経済的問題、健康上の理由等</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>相談内容に応じて、クラス担任、進路担当、専任カウンセラー等が対応。出席不良の学生には、クラス担任が電話やメールで状況を確認し、連絡がつかない場合は、保護者に報告。教職員全員で情報を共有し、組織的に対応している。またクラス担任は個人面談を通じて学校生活全般に対するケアを行っている。</p> <p>専任カウンセラーによるカウンセリングを実施している。</p>		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		芸術専門課程	映画 VFX 専攻科 夜間部(1年制)				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	夜	800 単位時間/単位	120 単位時間/単位	660 単位時間/単位	150 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			930 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		7人	0人	1人	3人	4人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
(概要) 1年間という短期プログラムのカリキュラムであるため、授業をアーカイブ化し、技術習得のための環境を整えている。 授業においては、課題毎のレポート提出や実施される小テスト等によって、学生の意欲や理解度を把握。また、必要に応じてクラス担任、進路担当、専任カウンセラー等が学修支援を実施している。 出席・成績不良の学生には、クラス担任が電話やメールで状況を確認し、連絡がつかない場合は、保護者に報告するなど、教職員全員で情報を共有し、組織的に対応している。	

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12人 (100%)	1人 (8.3%)	8人 (66.7%)	3人 (25.0%)
(主な就職、業界等) 株式会社 Spade&co.、株式会社 ビジュアルマントーキー、Netflix 合同会社、株式会社 文化工房、株式会社 ピラミッドフィルムピースリー事業本部、株式会社 オー・エル・エム、株式会社 CONTORNO、株式会社 ヒューマックスシネマ、株式会社 音響ハウス、Nomad Tokyo 合同会社などの映像技術関連企			

業
(就職指導内容) ビジネスマナー、就職試験対策、学内企業説明会、就職セミナー、模擬面接等を実施。就職担当者との進路個人面談を必須とし進路希望状況を把握している。1年間の在学中に、進路の方向性に合わせたインターンシップも実施している。(8月～9月)
(主な学修成果(資格・検定等)) 映像音響処理技術者資格認定試験、CGクリエイター検定、CGエンジニア検定、秘書検定、情報処理技能検定、文書デザイン検定、日本語ワープロ検定、プレゼンテーション作成検定、文章入力スピード検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13人	1人	7.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、健康上の理由等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 1年間という短期プログラムのカリキュラムであるため、授業をアーカイブ化し、技術習得のための環境を整えている。 相談内容に応じて、クラス担任、進路担当、専任カウンセラー等が対応。出席不良の学生には、クラス担任が電話やメールで状況を確認し、連絡がつかない場合は、保護者等にも報告。またクラス担任は個人面談を通じて学校生活全般に対するケアを行っている。 専任カウンセラーによるカウンセリングを実施している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
映画制作科 昼間部(2年制)	200,000円	800,000円	430,000円	
プロモーション映像科 昼間部(2年制)	200,000円	800,000円	430,000円	
小説創作科 昼間部(2年制)	200,000円	800,000円	430,000円	
アニメーション・CG 科 昼間部(2年制)	200,000円	800,000円	430,000円	
映画VFX専攻科 夜間部(1年制)	200,000円	480,000円	278,000円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校HPで公開している <a href="https://www.tohogakuen.ac.jp/about/valuation/">https://www.tohogakuen.ac.jp/about/valuation/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者として、関係企業、卒業生などを含む学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を行っている。 評価内容は学校運営会議などで報告され、次年度以降の改善に取り組んでいる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
専修学校 元校長	2023.4.1～2025.3.31	教育・学校運営に関する有識者
関連業界企業 社員	2023.4.1～2025.3.31	就職先及び関連業界関係者
高等学校 教諭	2023.4.1～2025.3.31	高等学校関係者
関連業界企業 社員	2024.4.1～2026.3.31	卒業生及び関連業界関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校HPに公開している <a href="https://www.tohogakuen.ac.jp/about/valuation/">https://www.tohogakuen.ac.jp/about/valuation/</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		



c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.tohogakuen.ac.jp/movie/>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H113310400426
学校名 (〇〇大学 等)	東放学園映画専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人東放学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		35人	31人	35人
内訳	第Ⅰ区分	22人	21人	
	第Ⅱ区分	一人	一人	
	第Ⅲ区分	一人	一人	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者 (年間)				0人
合計 (年間)				35人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	一人
「警告」の区分に連続して該当		0人	一人
計		0人	一人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

年間	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
		0人	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	一人
3月以上の停学	0人
年間計	一人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)		0人	0人
GPA等が下位4分の1		0人	一人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		一人	一人
計		一人	一人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。